

鶺の木地区地域情報紙 第110号

さんぽみち



発行：地域力推進鶺の木地区委員会
 編集：鶺の木地区 地域情報紙編集委員会
 事務局：鶺の木特別出張所
 電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

鶺の木特別出張所管内の人口
 (令和5年4月1日現在)

男	12,478人
女	13,933人
計	26,411人
世帯数	14,746世帯

わが町会の防犯への取り組み

鶺の木二丁目町会

以前より「防犯活動は隣人に興味を持つことから始まる」として、ご近所の顔の見える関係づくりに力を入れております。また、コロナ禍でも町内パトロールの際は緑の防犯パトロール帽子、ベストを着用し三区域を巡回し、地域の犯罪防止に取り組んでいます。

町内会の防犯活動は継続していくことが大事で、これが町内の犯罪抑止につながると思っています。今後もご近所が協力して防犯活動を続けて参ります。

会長 堀江 敏雄

鶺の木西町会

令和四年の防犯パトロールはコロナ感染対策を徹底しながら、毎月末に実施することができました。鶺の木一丁目側と二丁目側の二班に分かれ、延べ四十人の協力を頂きました。また、十月には田園調布警察署の鶺の木駅前で行われた防犯キャンペーンに参加し、チラシと記念品を配布しました。十二月には年末パトロールを実施しました。

引き続き防犯意識向上に向け活動を推進します。

会長 美谷島 善昭

鶺の木東町会

寒暑の厳しい時期を除き毎水曜の朝に町内パトロールを行っています。各回十人を超える町内の皆様にご参加いただき年間二十回以上、延べ二百人以上集っています。十月の鶺の木駅での防犯キャンペーンにも参加させていただきました。また、歳末の夜廻りにも協力し地域の防火防犯の目配りをしていきます。これからも楽しく地域の安全に貢献していければと思います。

会長 川合 勇夫

千鳥北町会

普段は歳末夜警と消火隊による十二月から三月までの夜警を行っています。区と都の補助金制度を利用して、町会と商栄会と協同で防犯カメラを設置し、より安全で安心な町づくりに努力しています。日常生活を脅かす最近の広域強盗事件にはどう対応して良いか悩んでいます。

会長 吉崎 迪三

千鳥南町会

安全、安心な町づくりのため、毎月の理事会で防犯についての情報収集を行い、理事全員で対応策を講じます。コロナ禍により中止していた毎月第2、第4木曜日の地域内の夜間パトロールを再開いたします。

会長 大芦 重雄

南久が原一丁目町会

四年前に町内全域六箇所に防犯カメラを設置しました。不審者や危険行為の割り出し、確認などに、警察と連携して役立てて頂いています。昨年には町会のホームページを立ち上げ、防犯情報や防犯知識の共有にも力を入れています。

様々な行事を通じて地域住民間の連携を深め、犯罪者の活動抑止に努めます。

会長 野口 伸雄

鶺の木三丁目町会

防犯パトロールは月二回、田園調布南町会との合同パトロールは年四回実施しています。小学校下校時は隣接町会と防犯活動推進委員との情報共有を行っています。警察署や区から依頼されたポスターの回覧、町会掲示板で周知をすることで安全な町づくりを進めていきます。

会長 掛川 正昭

高齢者ふれあいフェスタが 開催されました

令和5年3月7日(火)鶺の木特別出張所にて『第17回高齢者ふれあいフェスタ』が開催されました。当日は120名と多くの方々にご来場いただきました。鶺の木地区ではもみじ・鶺の木・千鳥の三つの元気塾(65歳以上のどなたでも参加可)が月に一回、それぞれ活動しています。各元気塾の今後の予定は町会掲示板等をご確認ください。



過去のフェスタ記録の放映



展示会の様子



二十歳のつどい

日時 令和5年1月9日(月曜日・祝日)

会場 大田区総合体育館

平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた区民

対象者数 5,981人 ←前年比106人増
 (令和5年1月1日現在)

参加者 3,345人



祝 二十歳のつどい

鶺の木クイズラリー(2月)

小学生を中心に千人を超える方が参加し、大盛況でした。鶺の木地区には、7つのクイズ以外にもたくさんの方の魅力があります。「歩いて魅力発見」そして健康に「鶺の木お散歩コースを歩いてみませんか。」



表彰

- 市民消防隊員40年
 - 鶺の木二丁目町会 川瀬 昌男
 - 鶺の木二丁目町会 中村 政男
- 市民消防隊員10年
 - 鶺の木西町会 今井 行雄
- 大田区市政功労者
 - 自治会・町会
 - 南久が原一丁目町会 曾根 千鶴子
 - 民生委員・児童委員 南久が原一丁目町会 青木 幸子

編集後記

鶺の木地区に住んで二十二年。治安も良く住みよい地域ではありますが、我が家にも特殊詐欺の電話が三回くらいかかってきたことがあります。本号では防犯について取り上げました。安心安全の町は、一人ひとりの心がけ、各町会の皆様の取り組み、行政・警察の対策などによってつくられるものだと思います。

これからも地域の絆をより深め、私達の町が安全で暮らしやすく栄えることを願っています。

編集委員 鳥海 美香

募金

- ※日本赤十字社募金 1,053,677円
- ※共同募金 911,660円
- ※歳末たすけあい募金 1,679,031円

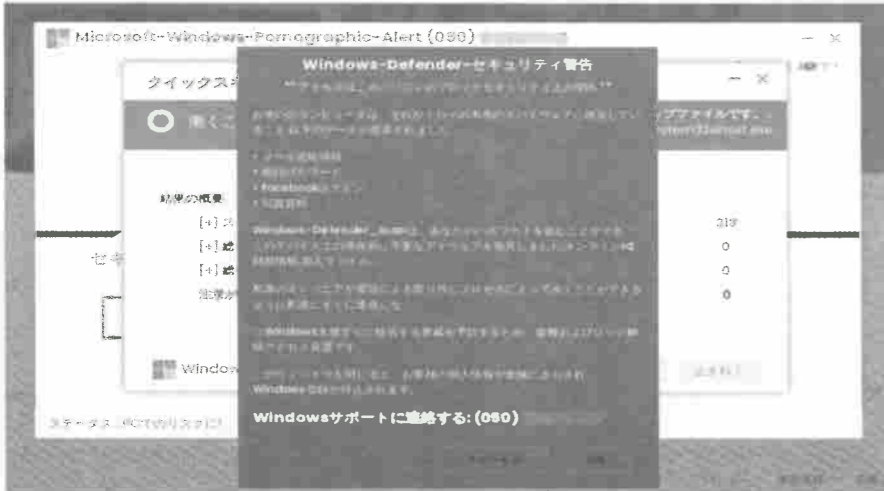
たくさんのご協力
 ありがとうございました

行事予定

- ※詳細は各町会掲示板等で確認ください。
- 第72回大田区子どもガーデンパーティー
 4月30日(水) せせらぎ会場
- 一斉清掃
 6月15日(木) ※雨天の場合、中止です。
- 鶺の木まつり
 7月22日(土)

サポート詐欺にご注意を！

サポート詐欺とは、パソコンやスマートフォンで動画やwebサイトなどを見ているときに、「ウイルスに感染」などと警告表示と連絡先が出て、ウイルス除去名目で現金振込や電子マネーカードの購入を要求するものです。



実際の画面



- 警告画面の番号に電話をしない！
- 電話で電子マネーカードを購入するように言われても購入しない！



コンビニで電子マネーカードを買わせる詐欺被害が急増中

防犯における町の思い

明るい町づくりのため地域の皆様には、ご協力をいただいております。最近各地で色々な犯罪が起きております。年々世帯数が多くなる一方、会員数は減少して、役員の成り手も少ない中、近所への声掛けや、見廻りを行っている町会役員の方々には大変なご苦労かけております。各町会の皆さんと連携を取りながら、防犯に努めて参りたいと思っております。

防犯対策は継続的な取り組みが大切です。各町会では色々な行事を進めております。今後ともご協力お願い申し上げます。

鶴の木地区町会連合会会長 大芦 重雄

警察署からのお知らせ

高齢者を狙った強盗事件が多数発生しています！

いま家にいくらありますか？
預金残高はいくらありますか？

×××万円なら家に置いてあります。

「あの家にお金がある」という情報が複数の犯罪グループに出回る。



詐欺犯人からのアポ電



自宅に現金を置いてあることや預貯金額を伝えてしまうと

SNS（交流サイト）で人が集められ犯罪が実行される。

緊急事態



守ってね！

電話の相手には

- 資産状況
- 預貯金額
- 自宅での現金保管状況

は絶対教えない。

特殊詐欺から自分を守る対策機器の一例です。



留守電設定にして在宅中も電話に出なければ犯人と通話しなくて済みます。



犯人は録音を嫌がり電話を切るので安心が高まります。警察で無料貸し出し中です。



電話機自体に自動通話録音機能が付いています。他の機能もある機種もあります。

問合せ先 田園調布警察署 ☎ 3 7 2 2 - 0 1 1 0
池上警察署 ☎ 3 7 5 5 - 0 1 1 0

食事と水分を上手にとって、夏を乗り切ろう！

夏の足音を感じる季節になりました。気温が上がると、食中毒や熱中症が起こりやすくなります。スーパーなどのお弁当や調理したものを、室温に長く放置してしまうと食材が傷みやすい季節です。健康のためにも、長時間経ったものは思い切って捨てましょう。

また、熱中症予防のための水分摂取のポイントは、水分の摂取量と食事量のバランスです。水分を取りすぎて、食事の量が減ってしまうと暑さや病気に対する抵抗力が下がってしまいます。食事や睡眠など、基本的な生活習慣を心掛けて下さい。

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢になると、暑さに対する感覚が鈍くなります。ぜひ皆さんで声を掛け合いながら、今年の夏も元気に過ごしましょう。

地域包括支援センターたまがわ 村石 昌代